

末梢血管検査

血圧脈波（ABI/PWV）

手と足の血圧の比較や脈波の伝わり方を調べることで、動脈硬化の程度を数値として表したものです。動脈硬化の度合や早期血管障害を検出することができます。

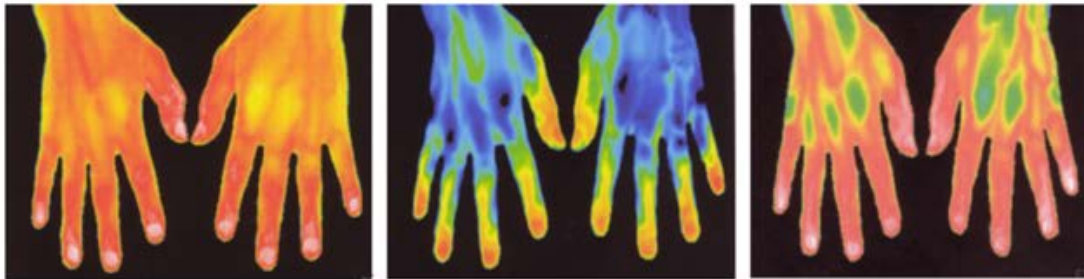
ベッドの上で仰向けになり、両側の腕と足首に血圧計の帯（カフ）、心電図の電極、心音マイクを装着します。ABIとPWVを同時に測定し、その結果をコンピューターによって数値化します。

皮膚灌流圧（SPP）

皮膚レベルの血流評価として使用されています。主として末梢部（手先、足先）の血行を調べたい部位にセンサーが付いたカフを巻き、そのカフに空気を入れて膨らませ一旦血流を止めます。その後カフから空気を抜いて血流が再び戻るポイントを測定します。

サーモグラフィ

赤外線カメラを使用し、手や足などの皮膚温度をリアルタイムに画像化するものです。レイノー病、動脈硬化症、膠原病などに伴う末梢血管への影響や治療効果の把握のために利用されています。下の写真は、健常者が冷水に手を浸けた後の時間的変化を見たものです。



負荷前

冷水負荷3分後

冷水負荷7分後

血管内皮機能検査（FMD）

カフで腕を締め、その後の血管拡張を超音波で診る検査です。正常な内皮細胞は、カフを緩めた後に血管拡張物質である一酸化窒素（NO）を放出します。このNOがどれだけ放出されたかは、どれだけ血管が拡張したかを見ることにより分かります。動脈硬化の予防・診断に活用されています。